

麻酔科専門研修プログラム

麻酔科医としてのキャリアパスを支援します

初期研修を終えた後、麻酔科医としてどこでスタートを切るべきか、麻酔科医を目指すみなさんは大いに悩まれることと思います。

当院麻酔科では、地域の中核病院として将来麻酔科専門医を目指すにあたり必要な経験を積むことができるよう、個々の意向やライフプランを尊重しつつ専攻医のみなさんをバックアップしていきます。大学病院などの大規模施設と異なり、症例のバリエーションや研修指導医の数には限りがありますが、指導医とマンツーマンでじっくりと症例に取り組むことで、駆け出し麻酔科医として必要十分な知識、技能、態度を身につけてもらえるようサポートしたいと考えています。

本プログラム概要

公立陶生病院麻酔科専門研修プログラムは、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し、地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成します。

当院は地域の中核病院として年**4000**例程度の手術を行っており、そのうち**1400**例程度を麻酔科で管理しています。一般的な全身麻酔に加えて、専門医取得に必要な帝王切開、心臓手術、胸部外科手術、脳外科手術、小児の手術の麻酔を経験することができます。

計**4**年間の研修期間のうち、前半の**2**年間は当院にて麻酔全般の研修を行い、**3**年目に麻酔標榜医を取得します。施設を変えないと経験できない症例もあるため、一般的なことを経験した後に連携施設に異動し、特殊性の高い研鑽を積むことはとても有用です。連携施設には以下のような特徴があります。

名古屋大学病院は愛知県の医療の中心であり、臓器移植も含めた他院では経験できない様々な症例の経験ができます。

大垣市民病院、一宮市立市民病院では心臓手術が多く経験できます。

豊田厚生病院ではペインクリニックや無痛分娩を学ぶことができます。

研修を通して、学会発表や臨床研究、論文作成など、その後研鑽を積んでいくうえでも役に立つ経験ができるようにサポートします。

本プログラム施設群における2025年実績

専門研修基幹施設

施設名	麻酔科管理全症例数	小児科 (6歳未満)	帝王切開	心臓血管外科	胸部外科	脳神経外科
公立陶生病院	1341	39	88	58	105	52

専門研修連携施設

施設名	麻酔科管理全症例数	小児科 (6歳未満)	帝王切開	心臓血管外科	胸部外科	脳神経外科
名古屋大学医学部附属病院	7564	472	185	727	537	413
豊田厚生病院	3179	33	32	165	178	71
大垣市民病院	2701	102	49	281	276	123
一宮市民病院	2109	75	6	251	24	96

連携病院

名古屋大学医学属病院 ・ 大垣市民病院 ・ 一宮市立市民病院 ・ 豊田厚生病院

年間ローテーション表

パターン	1年目	2年目	3年目	4年目
A	公立陶生病院	公立陶生病院	公立陶生病院	名古屋大学病院
B	公立陶生病院	公立陶生病院	公立陶生病院	大垣市民病院 一宮市立市民病院 豊田厚生病院
C	公立陶生病院	公立陶生病院	名古屋大学病院	名古屋大学病院
D	公立陶生病院	公立陶生病院	大垣市民病院 一宮市立市民病院 豊田厚生病院	公立陶生病院